

ATR TALK EXCHANGE

2025年 6月 18日 (水) 9:45~10:15

声帯摘出者の発声を通常発声に返還する深層学習モデルの研究開発

石黒浩特別研究所 グループリーダー 石井カルロス寿憲

喉頭がんなどで声帯を摘出した人は、電気式人工喉頭、食道発声法、シャント発声法等により発声は可能だが、摘出前に出ていたような声が出せず、QoLが低下しており、代替手段が存在していない。本研究では、音環境知能と深層学習を融合した音声変換技術により声帯摘出後の声から、摘出前の声、あるいは他者の声を出力することを目指す。既存の音声変換モデルをベースに再学習法を提案し、出力される音声のイントネーションを改善することができた。

